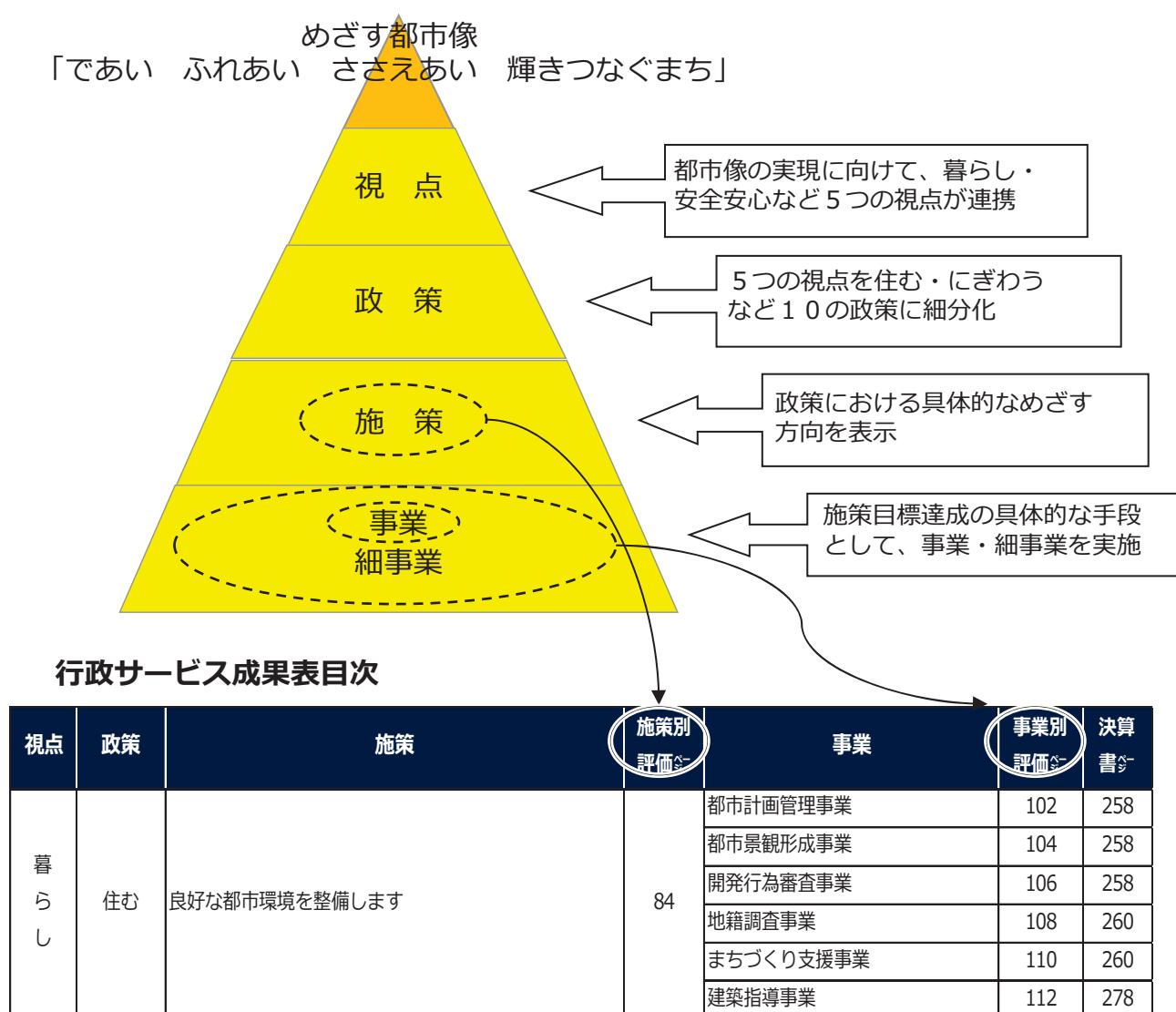


II. 行政サービス成果編

1. 行政サービス成果編の見方について

○第5次川西市総合計画「かわにし 幸せ ものがたり」の前期基本計画政策構造



※ 事業のうち、行政内部の管理関係事業については、掲載していないものがあります。

○各施策別、事業別行政サービス成果表での職員人件費・公債費の計上について

職員人件費は平均人件費×職員数で算出し、計上しています。

※一般会計における平均人件費：職員8,771千円、再任用職員4,239千円。

平均人件費には、職員共済組合負担金と退職手当組合負担金も含んでいます。

公債費は、元金及び利子を各事業に分類し、計上しています。

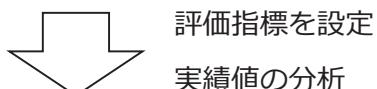
○施策別行政サービス成果表の施策評価について

第5次総合計画前期基本計画における施策の達成度を可視化するものとして、各施策に「施策評価指標」を設定し、指標を設定した際の基準値（平成23年度又は平成24年度値）及び各年度の実績値、前期基本計画の最終年度である平成29年度を目標年度とした目標値を表示しています。

目標値及び実績値の推移はグラフで示す（目標のめざすべき方向性を矢印で表記）とともに、各評価指標を担当する部長が「実績値の評価・分析」、「目標達成に向けた今後の課題」について、関連する事業の成果をはじめ社会情勢の変化などを踏まえながらコメントしています。

これにより、前期基本計画を施策の達成度から評価し、市民目線に立った施策と事業の見直しに繋げていきます。

施策1 良好的な都市環境を整備します



【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	定義	市民実感調査より	↗	<p>「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合</p> <table border="1"><caption>居住地域に住み続けたいと思う市民の割合</caption><thead><tr><th>期間</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>68.1</td></tr><tr><td>H25</td><td>77.7</td></tr><tr><td>H26</td><td>76.3</td></tr><tr><td>H27</td><td>73.6</td></tr><tr><td>H28</td><td>74.6</td></tr><tr><td>目標値</td><td>80.0</td></tr></tbody></table>	期間	割合	基準値	68.1	H25	77.7	H26	76.3	H27	73.6	H28	74.6	目標値	80.0
期間	割合																	
基準値	68.1																	
H25	77.7																	
H26	76.3																	
H27	73.6																	
H28	74.6																	
目標値	80.0																	
実績値の評価・分析	新名神高速道路ICの開通やキセラ川西の事業への、期待が高まりつつある。																	
目標達成に向けた今後の課題	新名神高速道路IC周辺土地利用計画の実現化に向けて取り組むとともに、キセラ川西のまちづくりに駅周辺地区との回遊性のある「賑わいの創出」に取り組む。																	
担当課	都市政策部 都市計画課																	

○事業別行政サービス成果表の「参画と協働の主な手法」について

平成28年度に各事業で実施した参画と協働の取組について7つの手法に分類し、主な手法を3つまで挙げています。

<手法の分類>

- 市民等からの意見、審議会・検討会、住民説明・情報発信、講座・フォーラム
- 団体等との共催・連携、団体等への補助、団体等への委託

○事業別行政サービス成果表の事業の自己評価、今後の方向性について

この評価の目的は、評価過程において、事業の課題を掘り起こし、明らかにすることで、次年度以降の業務改善に繋げようとするものです。

「自己評価」は、各事業を所管する部長が、前年度と比較した「市民の利便性や事業の効率性の向上の度合い」を以下の三段階で評価しています。

「課題と改善について」は、「妥当性」「効率性」「有効性」「参画と協働」の4つの視点を全て考慮して、次年度以降に向けた課題と改善点を記載しています。

「29年度以降における具体的な方向性について」は、年次的に計画している事業内容など、29年度以降の事業の概要を記載しています。

2. 施策体系別所属別総コスト一覧表

分野	政策	施策	総合政策部	総務部	市民生活部	健康福祉部
1 暮 ら し	1 住む	1 良好な都市環境を整備します				
		2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます				
		3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします				
		4 公園を利用しやすくします				
		5 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	1,246,700千円			
		6 市街地の整備を進めます				
		7 中央北地区のまちづくりを進めます				
		8 総合的な交通環境の向上を図ります				
		9 公営住宅を適正・効率的に管理します				
		10 ふるさと団地の再生を推進します				
2 安 全 安 心	2 にぎわう	11 商工業を振興します			121,190千円	
		12 中心市街地の活性化を推進します			21,037千円	
		13 農業を振興します			99,811千円	
		14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります			54,328千円	
		15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます			62,342千円	
		16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます			769,509千円	
	3 安らぐ	17 生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します				1,014,508千円
		18 安心して医療が受けられる環境の整備に努めます				3,795,904千円
		19 市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します	2,152,637千円			
		20 地域福祉活動の支援と促進を図ります				849,367千円
		21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します				1,963,892千円
		22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します				201,076千円
		23 障がい者の自立した生活と社会参加を促進します				3,264,775千円
		24 生活保護受給者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自立を支援します				3,759,240千円
4 備 え る	4 備える	25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します		540千円		
		26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します		103,862千円		50千円
		27 生活安全の向上を図ります		45千円	44,140千円	
	5 守る	28 豊かな自然環境を次世代へ継承します			409千円	
		29 快適な生活環境を守ります				
		30 循環型社会の形成を促進します				

都市政策部	みどり土木部	美化環境部	こども未来部	教育推進部	消防本部	会計課・行政委員会等	事業費合計
238,276千円							238,276千円
	2,279,162千円						2,279,162千円
	192,071千円						192,071千円
	677,111千円						677,111千円
							1,246,700千円
132,984千円							132,984千円
	717,959千円						717,959千円
60,113千円							60,113千円
599,181千円							599,181千円
41,612千円							41,612千円
							121,190千円
							21,037千円
							99,811千円
							54,328千円
	33,687千円						96,029千円
							769,509千円
							1,014,508千円
							3,795,904千円
							2,152,637千円
							849,367千円
							1,963,892千円
							201,076千円
							3,264,775千円
							3,759,240千円
					206,011千円		206,551千円
	22,728千円				1,589,702千円		1,716,342千円
							44,185千円
	223,819千円	29,437千円					253,665千円
29,902千円	3,270千円	247,041千円					280,213千円
	11,968千円	3,234,678千円					3,246,646千円

分野	政策	施策	総合政策部	総務部	市民生活部	健康福祉部
3 生 き が い	6 育つ	31 子どもの健やかな育ちを実現します				
		32 明るく楽しい子育てを支援します			6,730千円	571,768千円
		すべての子ども・若者の逞（たくま）しい成長を社会全体で支援します				
3 生 き が い	7 学ぶ	34 児童・生徒の学力を向上させます				
		35 こころ豊かな児童・生徒を育みます				
		36 誰もが等しく学べるよう支援します				
		37 児童・生徒の健康を守ります				
		38 計画的・効果的に教育環境を整備します				
		39 市民の学びを通して地域社会を支えます				
		40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します				
4 つ な が り	8 尊ぶ	41 お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます			116,510千円	
		42 性別に関わりなく、個性と能力を十分に發揮できるようにします			92,666千円	
	9 関わる	43 市民の声を聴き、情報の共有化に努めます	77,062千円	11,382千円	35,484千円	
		44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します	64,138千円			
行政 経営 改 革 大 綱	10 挑む	45 参画と協働のまちづくりを推進します	98,909千円			
		46 革新し続ける行政経営をめざします	376,356千円			
		47 持続可能な財政基盤を確立します	2,885,792千円	1,074,090千円		
		48 職員の意欲と能力を高めます		477,493千円		
		49 長期的展望に立ち、公共施設を整備・保全します		324,864千円		
その 他			34,794千円	846,795千円	261,085千円	38,830千円
合計			6,936,388千円	2,839,071千円	1,685,241千円	15,459,410千円

都市政策部	みどり土木部	美化環境部	こども未来部	教育推進部	消防本部	会計課・行政委員会等	事業費合計
8,924千円			3,759,093千円	219,308千円			3,987,325千円
			3,032,483千円				3,610,981千円
			24,758千円				24,758千円
				225,220千円			225,220千円
			876千円	167,037千円			167,913千円
			151,635千円	251,212千円			402,847千円
				523,683千円			523,683千円
1,260,502千円			684,048千円				1,944,550千円
				547,066千円			547,066千円
				114,886千円			114,886千円
							116,510千円
							92,666千円
							123,928千円
							64,138千円
							98,909千円
							376,356千円
						56,603千円	4,016,485千円
							477,493千円
1,406,758千円							1,731,622千円
41,184千円	87,033千円	48,406千円	817,063千円	34,625千円	87,771千円	633,635千円	2,931,221千円
3,819,436千円	4,248,808千円	3,559,562千円	8,469,956千円	2,083,037千円	1,883,484千円	690,238千円	51,674,631千円

3. 施策体系別評価指標一覧表

視点	政策	施 策	評 価 指 標
1 暮 ら し	1 暮 ら し に ぎ わ う	1 良好的な都市環境を整備します	「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合
			民間住宅の耐震化率
			川西市の景観に関心がある市民の割合
		2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます	「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合
			「幹線道路で円滑な交通が確保されている」と思う市民の割合
		3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします	違法駐車等防止重点区域における瞬間駐車台数
		4 公園を利用しやすくします	公園を満足して利用している市民の割合
		5 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	「川西の水が安心して飲める」と思う市民の割合
			水洗化の普及率
			浄水場から配水した水量に対する、水道料金に結び付いた水量の割合
		6 市街地の整備を進めます	—
		7 中央北地区のまちづくりを進めます	地区内公共施設整備率
			地区内宅地率
		8 総合的な交通環境の向上を図ります	ノンステップバス導入率
			主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合
		9 公営住宅を適正・効率的に管理します	公営住宅の管理戸数
		10 ふるさと団地の再生を推進します	ふるさと団地への流入人口
			ふるさと団地の生産人口比率
2 に ぎ わ う	2 に ぎ わ う	11 商工業を振興します	主に市内で買い物をする市民の割合
			市内総生産額
			小売業店舗数
			工業事業所数
		12 中心市街地の活性化を推進します	鉄道の1日の乗降客数
			休日の歩行者通行量
		13 農業を振興します	直売所来場者数
			特産物栽培面積
			農作物作付面積
		14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります	自分の仕事にやりがいを感じている市民の割合
			川西しごと・サポートセンターの年間就職件数
		15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます	姉妹都市である香取市の名前を聞いたことがある市民の割合
			観光客入込数
		16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます	過去1年間に継続してスポーツをした市民の割合
			文化会館・みつなかホールで実施される自主事業の集客率

視点	政策	施 策	評 価 指 標
2 安 全 安 心	3 安 ら ぐ	17 生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します	健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合
			定期的に歯の検診を受けている市民の割合
			「食事をすることが楽しい」と思う市民の割合
			むし歯のない3歳児の割合
	18 めます	安心して医療が受けられる環境の整備に努めます	市内の医療環境に満足している市民の割合
			かかりつけ医を持っている市民の割合
	19 とともに、あり方を検討します	市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します	患者満足度
			経常収支比率
			病床利用率
			職員給与費医業収益比率
			資金不足比率
	20 図ります	地域福祉活動の支援と促進を図ります	「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができる」と思う市民の割合
			福祉ボランティア活動に参加したことがある市民の割合
	21 とともに、要介護状態を予防・改善します	高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します	高齢者に占める要介護（支援）認定者の割合
			認定者に占める居宅介護（支援）サービス受給者の割合
			認知症サポーターの人数
	22 します	高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します	「高齢者が生きがいを持って生活できる」と思う市民の割合
			シルバー人材センターの入会率
			老人クラブの入会率
	23 します	障がい者の自立した生活と社会参加を促進します	福祉施設入所者の地域生活移行者数（延べ人数）
			障がい者福祉施設からの一般就労者数
	24 します	生活保護受給者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自立を支援します	就労支援により就労した人数
			自立による生活保護世帯廃止件数
4 備 え る	25 します	地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	地震や火災などの災害に対する備えができる市民の割合
			「災害に強いまちだ」と思う市民の割合
	26 します	行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	火災現場への平均到着所要時間
			救急現場への平均到着所要時間
	27 図ります	生活安全の向上を図ります	犯罪発生件数
			「消費者トラブルに遭わない心構えができる」と思う市民の割合
			消費生活相談の解決率

視点	政策	施 策	評 価 指 標
2 安 全 安 心	5 守 る	28 豊かな自然環境を次世代へ継承します	環境に配慮した行動を心がけている市民の割合
			「緑が豊かなまちだ」と思う市民の割合
		29 快適な生活環境を守ります	自動車排出ガス（二酸化窒素）濃度
			猪名川水系における水質測定値（BOD値）
			Lden（時間帯補正等価騒音レベル）
		30 循環型社会の形成を促進します	「歩道や道路がきれいだ」と思う市民の割合
			ごみ収集・処分に対する満足度
			一人一日あたりのごみ排出量
			一人一日あたりの可燃ごみ排出量
			ごみのリサイクル率
3 生 き が い	6 育 つ	31 子どもの健やかな育ちを実現します	「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合
			保育所の入所待機児童数
			合計特殊出生率
		32 明るく楽しい子育てを支援します	「子育て支援が充実している」と思う市民の割合
			乳幼児健康診査受診率
			妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している母親の割合
			児童扶養手当受給資格者に対する全部支給の割合
		33 すべての子ども・若者の逞（たくま）しい成長を社会全体で支援します	充実感を持って生きている若者の割合
			名前（ニックネーム含む）を知っている近所の子どもの数
			成人式典への参加率
	7 学 ぶ	34 児童・生徒の学力を向上させます	「学習内容を理解している」と思う児童の割合（小学生）
			「学習内容を理解している」と思う生徒の割合（中学生）
			児童・生徒にICT活用を指導できる教員の割合
			個別の教育支援計画作成の進捗度
		35 こころ豊かな児童・生徒を育みます	「子どもの安全・安心を守る取り組みが行われている」と思う保護者の割合
			「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合（小学生）
			「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合（中学生）
			「トライやる・ウィークの一週間が充実していた」と思う生徒の割合
			「小学校体験活動が充実していた」と思う児童の割合
			経済的理由による長期欠席児童生徒数の全児童生徒数に占める割合
		36 誰もが等しく学べるよう支援します	就学指導に係る園児・児童・生徒の保護者が「就学先に満足している」と思う割合
			健康診断結果をもとに治療勧告し、病院受診した割合
		37 児童・生徒の健康を守ります	小学校給食の残食率
			学校・園施設の耐震化率
		38 計画的・効果的に教育環境を整備します	小・中学校のトイレ洋式化率

視点	政策	施 策	評 価 指 標	
3 生 き が い	7 学 ぶ	39 市民の学びを通して地域社会を支えます	過去 1 年間に継続して生涯学習に取り組んだ市民の割合	
			「生涯学習の条件が整備されている」と思う市民の割合	
			公民館講座満足度	
			生涯学習短期大学講座満足度	
	40 ふ る さ と 川 西 の 文 化 遺 産 を 保 存 ・ 継 承 ・ 活 用 し ま す		川西の歴史・文化財に興味がある市民の割合	
4 つ な が り	8 尊 ぶ	41 お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます	一人ひとりの人権が尊重されていると感じている市民の割合	
			小中学生のオンブズパーソン認知率	
			隣保館来館者数	
			姉妹都市であるボーリング・グリーン市の名前を聞いたことがある市民の割合	
	42 性 別 に 関 わ り な く 、 個 性 と 能 力 を 十 分 に 発 揮 で き る よ う に し ま す		性別による固定的役割分担を否定する市民の割合	
			審議会等への女性委員の登用率	
			男女共同参画センター登録活動団体数	
	9 関 わ る	43 市民の声を聴き、情報の共有化に努めます	必要な市の情報が入手できると感じている市民の割合	
			市民の意見や考えなどが市に届いていると感じている市民の割合	
		44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します	自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合	
			ボランティアやN P Oなどの活動に参加している市民の割合	
			自治会やコミュニティ、ボランティアやN P Oの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合	
5 行 政 經 營 改 革 大 綱	45 参 与 と 協 働 の ま ち づ く り を 推 進 し ま す		「参画と協働」という言葉を知っている市民の割合	
			「参画と協働」の取り組みをおこなったことがある市民の割合	
			仕事を進めるうえで、「参画と協働」を意識している職員の割合	
	46 革 新 し 続 け る 行 政 經 營 を め ざ し ま す		前期基本計画の施策評価指標達成率	
			市役所窓口サービスの満足度	
			職員満足度	
			行財政改革目標効果額の進捗率	
			人口 1 万人あたり職員数	
			ふるさとづくり寄附金の受入件数	
			社会増減数（転出入）に占める生産人口割合	
	47 持 続 可 能 な 財 政 基 盤 を 確 立 し ま す		実質赤字比率	
			連結実質赤字比率	
			実質公債費比率	
			将来負担比率	
			経常収支比率	
	48 職 員 の 意 欲 と 能 力 を 高 め ま す		仕事にやりがいを感じている職員の割合	
			「職場で部下や後輩の育成が行われている」と思う職員の割合	
	49 長 期 的 展 望 に 立 ち 、 公 共 施 設 を 整 備 ・ 保 全 し ま す		—	

4. 行政サービス成果表目次

視点	政策	施策	施策別 評価値	事業	事業別 評価値	決算 書類
暮らす	良好な都市環境を整備します		84	都市計画管理事業	102	258
				都市景観形成事業	104	258
				開発行為審査事業	106	258
				地籍調査事業	108	260
				まちづくり支援事業	110	260
				建築指導事業	112	278
	道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます		85	歩道整備事業	114	246
				道路管理事業	116	248
				道路・水路維持補修事業	118	250
				私道舗装助成事業	120	254
				側溝新設事業	122	254
				道路改良事業	124	254
				市道化対策事業	126	254
				橋りょう維持補修事業	128	256
	交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします		86	街路新設改良事業	130	262
				新名神周辺対策事業	132	262
				交通安全施設整備事業	134	244
				違法駐車等対策事業	136	244
	公園を利用しやすくします		87	放置自転車対策事業	138	246
				交通安全啓発事業	140	246
				公園改良事業	142	266
	安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます		88	公園維持管理事業	144	266
				水道事業会計支援事業	146	202
				下水道事業会計負担金及び補助金	148	266
	市街地の整備を進めます		89	再開発総務管理事業	150	264
				空港周辺地域整備事業	152	270
				中央北地区のまちづくりを進めます	154	260
	総合的な交通環境の向上を図ります		90	公共交通支援事業	156	242
				住宅供給促進事業	158	274
				公営住宅基本計画策定事業	160	276
	公営住宅を適正・効率的に管理します		92	市営住宅維持管理事業	162	276
				花屋敷団地建替事業	164	278
				ふるさと団地再生事業	166	274
				ふるさと団地の再生を推進します	93	
にぎわう	商工業を振興します		94	商工振興事業	168	230
				中小企業支援事業	170	230
				中心市街地活性化推進事業	172	230
	農業を振興します		97	農業振興事業	174	226
				農業用施設改良事業	176	228
				農業用施設等災害復旧事業	178	348
	就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります		98	就労支援事業	180	220
				労働者支援事業	182	220
	観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます		99	国内交流事業	184	112
				観光推進事業	186	236
				イベント支援事業	188	236
				猪名川花火大会事業	190	236
				知明湖キャンプ場管理運営事業	192	236
				知明湖活用推進事業	194	240
				ダリヤ育成事業	196	242
	文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます		100	文化振興事業	198	108
				芸術文化施設維持管理事業	200	110
				生涯スポーツ推進事業	202	120

視点	政策	施策	施策別 評価	事業	事業別 評価	決算 書		
暮らしひ	にぎわう	文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます	100	競技スポーツ推進事業 スポーツ施設管理運営事業 アステ市民プラザ運営事業	204 206 208	120 122 124		
安心	安らぐ	生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します	212	健康づくり推進事業 保健対策事業 予防事業 健康診査事業 特定健康診査実施事業 特定保健指導実施事業 後期高齢者健康診査実施事業 歯科保健推進事業	230 232 234 236 238 240 242 244	188 188 192 194 196 196 198 200		
				後期高齢者医療事業負担金 後期高齢者健康診査助成事業 保健センター維持管理事業 応急診療所運営事業 救急医療対策事業 歯科診療事業	246 248 250 252 254 256	166 166 196 198 198 200		
				市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します	215	病院事業会計支援事業 病院事業経営改革推進事業	258 260	202 202
				民生児童委員活動事業 地域福祉計画推進事業 地域福祉活動支援事業 災害援護資金管理事業 中国残留邦人支援事業 臨時福祉給付金給付事業	262 264 266 268 270 272	146 146 146 148 150 150		
				高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します	218	外国人等高齢者特別給付金支給事業 老人医療扶助事業 在宅高齢者支援事業 施設入所援護事業 老人福祉施設支援事業 介護保険低所得者対策事業	274 276 278 280 282 284	148 162 168 168 170 170
				高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します	219	高齢者生きがいづくり推進事業	286	168
				障がい者の自立した生活と社会参加を促進します	220	外国人等障害者特別給付金支給事業 障害者総合支援事業 障害者地域生活支援事業 障害者医療扶助事業	288 290 292 294	148 158 160 162
		生活保護受給者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自立を支援します	221	生活支援事業 生活困窮者自立支援事業	296 298	182 184		
				自主防災組織支援事業 火災予防事業 消防団活動推進事業 消防団施設整備事業	300 302 304 306	118 284 286 288		
備える	地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	222	急傾斜地対策事業 消防活動事業 救急活動事業 消防施設維持管理事業	308 310 312 314	250 282 284 286		
				消防施設整備事業 水防事業 災害対策事業 道路等災害復旧事業	316 318 320 322	290 290 292 348		

視点	政策	施策	施策別評価	事業	事業別評価	決算書		
安全安心	備える	生活安全の向上を図ります	225	生活安全事業	324	118		
				消費生活相談事業	326	232		
				消費者啓発事業	328	234		
	守る	豊かな自然環境を次世代へ継承します	226	環境創造事業	330	208		
				林業振興事業	332	226		
				緑化推進事業	334	242		
				街路樹維持管理事業	336	252		
				緑地維持管理事業	338	268		
	育つ	快適な生活環境を守ります	227	環境衛生推進事業	340	204		
				犬の登録事業	342	204		
				斎場管理運営事業	344	206		
				環境監視事業	346	208		
				市民トイレ管理事業	348	214		
				し尿収集事業	350	216		
				阪神高速道路周辺環境監視事業	352	262		
				騒音環境対策事業	354	272		
生きがい	育つ	循環型社会の形成を促進します	228	共同利用施設管理運営事業	356	272		
				ごみ減量化とリサイクル推進事業	358	212		
				広域ごみ処理施設管理運営事業	360	214		
				最終処分対策事業	362	214		
				分別収集事業	364	216		
	育つ			市道等不法投棄処理事業	366	250		
	子どもの健やかな育ちを実現します	370	子ども・子育て計画策定・管理事業	384	172			
			保育所運営事業	386	178			
			保育所維持管理事業	388	180			
			地域保育園支援事業	390	180			
			育つ			認定こども園支援事業	392	180
						認定こども園整備事業	394	180
						市立幼稚園・保育所一体化施設整備事業	396	182
						留守家庭児童育成クラブ事業	398	308
						幼稚園運営事業	400	324
育つ			生きがい			幼稚園備品整備事業	402	326
						幼児健康管理事業	404	326
						幼稚園施設維持管理事業	406	334
			育つ			児童館運営事業	408	156
						乳幼児等医療扶助事業	410	162
	明るく楽しい子育てを支援します	371	母子等医療扶助事業	412	162			
			子育て支援事業	414	172			
			児童手当等支給事業	416	174			
育つ			生きがい			ひとり親家庭支援事業	418	174
						母子保健推進事業	420	190
			育つ			青少年支援事業	422	176
						成人式典実施事業	424	176
						教育情報推進事業	426	300
	学ぶ	児童・生徒の学力を向上させます	374	学校教育支援事業	428	302		
				教育研究事業	430	304		
				小学校教科書・副読本整備事業	432	314		
				小学校教育情報推進事業	434	314		
				中学校教科書・副読本整備事業	436	322		
				中学校教育情報推進事業	438	322		
				特別支援学校教育情報推進事業	440	330		

視点	政策	施策	施策別評価	事業	事業別評価	決算書
生きがい	学ぶ	こころ豊かな児童・生徒を育みます	376	教育広報発行事業 適応教室運営事業 学校・地域連携推進事業 青少年育成事業 学校人権教育推進事業 生徒指導支援事業 青少年センター運営事業 小学校体験活動事業 小学校教育支援事業 中学校教育支援事業 丹波少年自然の家運営事業 子ども議会実施事業	442	298
		誰もが等しく学べるよう支援します		学校教育振興団体補助事業 就学支援事業 就園奨励費補助事業 学校教育管理事業 相談事業 特別支援学校教育支援事業	466 468 470 472 474 476	300 302 302 302 306 330
		児童・生徒の健康を守ります		小学校給食運営事業 児童健康管理事業 中学校給食運営事業 生徒健康管理事業 特別支援学校給食運営事業 児童・生徒健康管理事業	478 480 482 484 486 488	316 318 322 324 332 332
		計画的・効果的に教育環境を整備します		小学校運営事業 小学校備品整備事業 小学校図書整備事業 中学校運営事業 中学校備品整備事業 中学校図書整備事業 特別支援学校運営事業 特別支援学校備品整備事業 小学校施設維持管理事業 中学校施設維持管理事業 特別支援学校施設維持管理事業 教育施設耐震化事業 小中学校及び幼稚園等空調設備整備PFI推進事業	490 492 494 496 498 500 502 504 506 508 510 512 514	312 312 312 320 320 320 328 330 334 334 334 334 336
		市民の学びを通して地域社会を支えます		生涯学習推進事業 生涯学習短期大学運営事業 公民館運営事業 公民館維持管理事業 図書館運営事業 図書館施設維持管理事業	516 518 520 522 524 526	336 338 342 344 344 346
	つながり	ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します	383	文化財事業	528	340
		お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます	532	国際化推進事業 人権啓発推進事業 市民平和推進事業 子どもの人権オンブズパーソン事業 人権教育推進団体等支援事業 隣保館運営事業 総合センター維持管理事業	538 540 542 544 546 548 550	112 152 152 152 154 156 156
		性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できるようにします		男女共同参画推進事業 男女共同参画センター運営事業	552 554	112 114
		市民の声を聴き、情報の共有化に努めます		情報公開事業 広報事業 広聴事業 市民相談事業	556 558 560 562	94 94 116 116

視点	政策	施策	施策別 評価△-	事業	事業別 評価△-	決算 書△-
つながり	関わる	市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します	536	コミュニティ推進事業 自治会支援事業 市民活動推進事業	564 566 568	114 114 116
行政 経営 改革 大綱	挑む	参画と協働のまちづくりを推進します	572	参画と協働のまちづくり推進事業	580	88
		革新し続ける行政経営をめざします	573	総合計画策定・管理事業 政策企画・立案事業 行政経営推進事業 魅力創造事業 地方創生戦略推進事業	582 584 586 588 590	86 86 88 90 90
		持続可能な財政基盤を確立します	575	徴収及び収納事業 滞納対策事業	592 594	130 132
		職員の意欲と能力を高めます	577	情報化事業 職員研修事業	596 598	92 108
		長期的展望に立ち、公共施設を整備・保全します	578	公共施設マネジメント事業 キセラ川西内複合施設整備事業 市民体育館・運動場整備PFI推進事業 清掃事務所整備事業 川西北小学校大規模改造事業 (仮称)出在家町健幸公園整備事業	600 602 604 606 608 610	104 104 122 214 334 270
		市議会事務局又は行政委員会事務局の事務	-	選挙啓発事業	612	138
		市長部局等の事務	-	住民基本台帳及び印鑑登録事業 戸籍事業 国民年金事業	614 616 618	134 136 164

暮らし

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし	H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む						
施策	01 良好的な都市環境を整備します	コスト合計	245,917千円	237,891千円	229,407千円	238,276千円	951,491千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度			担当課	
	事業費	職員人件費	公債費		
都市計画管理事業	6,836千円	26,313千円	0千円	33,149千円	都市政策部 都市計画課
都市景観形成事業	82千円	8,771千円	0千円	8,853千円	都市政策部 都市計画課
開発行為審査事業	745千円	26,313千円	0千円	27,058千円	都市政策部 開発指導課
住宅・宅地調整事業	84千円	17,542千円	0千円	17,626千円	都市政策部 開発指導課
地籍調査事業	11,771千円	17,542千円	0千円	29,313千円	都市政策部 都市計画課
まちづくり支援事業	4,330千円	17,542千円	0千円	21,872千円	都市政策部 都市計画課
建築指導事業	17,227千円	83,178千円	0千円	100,405千円	都市政策部 建築指導課

【施策評価指標】

評価指標				傾向												
1 「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	↗												
	実績値の評価・分析		新名神高速道路ICの開通やキセラ川西の事業への、期待が高まりつつある。													
	目標達成に向けた今後の課題		新名神高速道路IC周辺土地利用計画の実現化に向けて取り組むとともに、キセラ川西のまちづくりに駅周辺地区との回遊性のある「賑わいの創出」に取り組む。													
	担当課		都市政策部 都市計画課													
				「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合												
				<table border="1"> <caption>居住地域に住み続けたいと思う市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68.1</td> <td>77.7</td> <td>76.3</td> <td>73.6</td> <td>74.6</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	68.1	77.7	76.3	73.6	74.6	80.0
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値											
68.1	77.7	76.3	73.6	74.6	80.0											

評価指標				傾向												
2 民間住宅の耐震化率	定義	方向性	市内民間住宅のうち耐震性を有する住宅の割合	↗												
	実績値の評価・分析		住宅耐震改修促進事業の実施などにより、緩やかながら確実に耐震化は進んでいる。(数値は国の統計から5年ごとに算定)													
	目標達成に向けた今後の課題		安全・安心まちづくりの実現に向け、今後も、住宅耐震改修促進事業や市民・事業者への啓発などを実施しながら、耐震化の推進に努める。													
	担当課		都市政策部 建築指導課													
				民間住宅の耐震化率												
				<table border="1"> <caption>民間住宅の耐震化率</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>81.0</td> <td>81.0</td> <td>81.0</td> <td>84.0</td> <td>84.0</td> <td>97.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	81.0	81.0	81.0	84.0	84.0	97.0
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値											
81.0	81.0	81.0	84.0	84.0	97.0											

評価指標				傾向												
3 川西市の景観に関心がある市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	↗												
	実績値の評価・分析		魅力的な景観の形成をめざし、景観展やフォーラム等を通じ、普及・啓発を続けてきた「川西市景観計画」への期待が高まっている。													
	目標達成に向けた今後の課題		市民と事業者と市が協働し、条例や関連制度を活用することで、景観計画の実現化を図っていく必要がある。													
	担当課		都市政策部 都市計画課													
				川西市の景観に関心がある市民の割合												
				<table border="1"> <caption>川西市の景観に関心がある市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80.2</td> <td>87.1</td> <td>86.2</td> <td>82.1</td> <td>82.5</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	80.2	87.1	86.2	82.1	82.5	85.0
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値											
80.2	87.1	86.2	82.1	82.5	85.0											

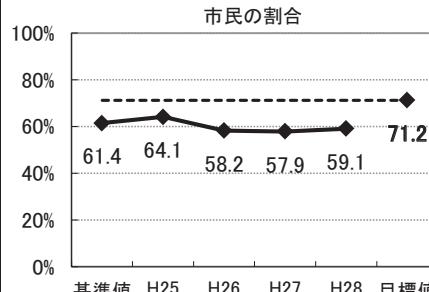
施策別 行政サービス成果表

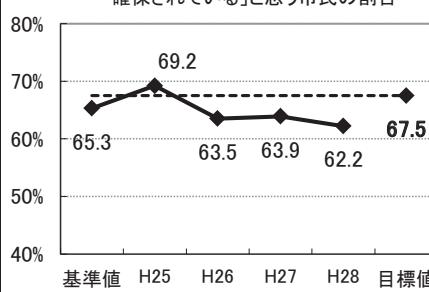
視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合 計
政策	01 住む							
施策	道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます	コスト合計	1,932,001千円	1,741,490千円	2,219,710千円	2,279,162千円		8,172,363千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
歩道整備事業	11,172千円	8,771千円	0千円	19,943千円	みどり土木部 道路整備課
道路管理事業	19,633千円	48,094千円	0千円	67,727千円	みどり土木部 道路管理課
道路・水路維持補修事業	324,921千円	56,865千円	795,952千円	1,177,738千円	みどり土木部 道路管理課
私道舗装助成事業	2,255千円	0千円	0千円	2,255千円	みどり土木部 道路管理課
側溝新設事業	19,321千円	8,771千円	0千円	28,092千円	みどり土木部 道路整備課
道路改良事業	148,002千円	17,542千円	0千円	165,544千円	みどり土木部 道路整備課
市道化対策事業	883千円	0千円	0千円	883千円	みどり土木部 道路管理課
橋りょう維持補修事業	117,329千円	8,771千円	74,354千円	200,454千円	みどり土木部 道路管理課
街路新設改良事業	45,018千円	17,542千円	0千円	62,560千円	みどり土木部 道路整備課
新名神周辺対策事業	518,882千円	35,084千円	0千円	553,966千円	みどり土木部 道路整備課

【施策評価指標】

評価指標	傾向			
	定義	方向性	市民実感調査より	↗
「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合	実績値の評価・分析	舗装の劣化や道路施設の老朽化が進行しているにも関わらず、順次維持管理していることにより横ばい状態を保っている。		「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合
	目標達成に向けた今後の課題	舗装や道路施設の更新を計画的に取り組んでいく必要がある。		
	担当課	みどり土木部 道路管理課		
				

評価指標	傾向			
	定義	方向性	市民実感調査より	↗
「幹線道路で円滑な交通が確保されている」と思う市民の割合	実績値の評価・分析	昨年度は新規で開通した路線がなかったことにより、概ね横ばい傾向にある。		「幹線道路で円滑な交通が確保されている」と思う市民の割合
	目標達成に向けた今後の課題	新名神高速道路川西ICのアクセス道路の一つである矢間畦野線を早期に完了させ、供用開始をすることによって目標達成に近づける。		
	担当課	みどり土木部 道路整備課		
				

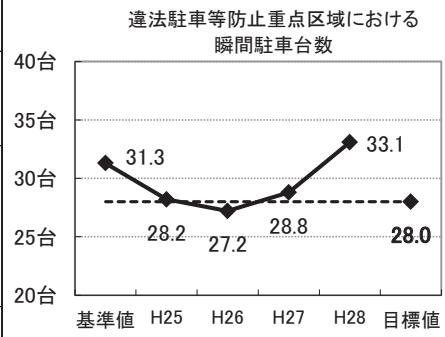
施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし	H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む						
施策	03 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします	コスト合計	249,005千円	258,905千円	669,589千円	192,071千円	1,369,570千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
交通安全施設整備事業	91,626千円	26,313千円	4,168千円	122,107千円	みどり土木部 道路管理課
違法駐車等対策事業	896千円	0千円	0千円	896千円	みどり土木部 道路管理課
放置自転車対策事業	45,107千円	13,010千円	0千円	58,117千円	みどり土木部 道路管理課
交通安全啓発事業	10,951千円	0千円	0千円	10,951千円	みどり土木部 道路管理課

【施策評価指標】

評価指標				傾向													
違法駐車等防止重点 1 区域における瞬間駐車台数	定義	方向性	瞬間駐車台数調査より	↙													
	実績値の評価・分析		毎月迷惑駐車追放街頭啓発などを実施しているものの、年度により変動がある。														
	目標達成に向けた今後の課題		警察に取締りの強化を要請するとともに、街頭啓発を継続する必要がある。														
	担当課		みどり土木部 道路管理課	 <p>違法駐車等防止重点区域における瞬間駐車台数</p> <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>瞬間駐車台数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>31.3</td></tr><tr><td>H25</td><td>28.2</td></tr><tr><td>H26</td><td>27.2</td></tr><tr><td>H27</td><td>28.8</td></tr><tr><td>H28</td><td>33.1</td></tr><tr><td>目標値</td><td>28.0</td></tr></tbody></table>	年次	瞬間駐車台数	基準値	31.3	H25	28.2	H26	27.2	H27	28.8	H28	33.1	目標値
年次	瞬間駐車台数																
基準値	31.3																
H25	28.2																
H26	27.2																
H27	28.8																
H28	33.1																
目標値	28.0																

施策別 行政サービス成果表

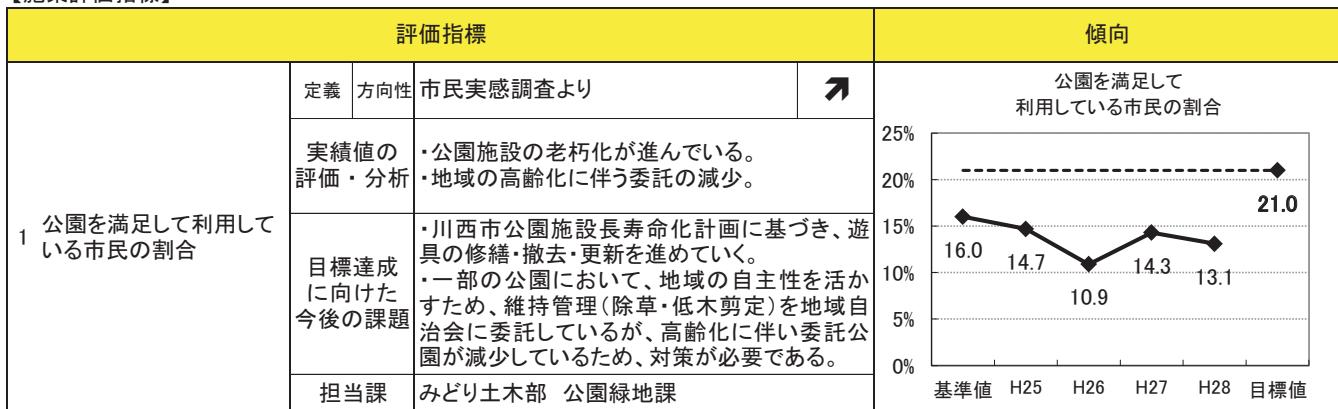
視点	01 暮らし
政策	01 住む
施策	04 公園を利用しやすくします

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	487,312千円	428,346千円	482,339千円	677,111千円		2,075,108千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
公園改良事業	377,769千円	8,771千円	0千円	386,540千円	みどり土木部 公園緑地課
公園維持管理事業	233,769千円	30,552千円	26,250千円	290,571千円	みどり土木部 公園緑地課

【施策評価指標】



施策別 行政サービス成果表

視点	01 著らし	H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む						
施策	05 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	コスト合計	1,128,442千円	1,151,866千円	1,187,330千円	1,246,700千円	4,714,338千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
水道事業会計支援事業	65,891千円	0千円	15,325千円	81,216千円	総合政策部 財政課
下水道事業会計負担金及び補助金	1,062,000千円	0千円	103,484千円	1,165,484千円	総合政策部 財政課

【施策評価指標】

評価指標				傾向													
1 「川西の水が安心して飲める」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	↗	<p>「川西の水が安心して飲める」と思う市民の割合</p> <table border="1"> <caption>「川西の水が安心して飲める」と思う市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>76.8</td> <td>77.6</td> <td>77.7</td> <td>75.8</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		76.8	77.6	77.7	75.8	80.0
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値												
	76.8	77.6	77.7	75.8	80.0												
実績値の評価・分析		60代以上のかたは、安心して飲んでいるかたの割合が高いが、若い世代や女性のかたは、安心して飲んでいないかたの割合が比較的高い為、目標値を達成できなかった。															
目標達成に向けた今後の課題		特に若い世代、女性のかたにも安心して飲んで頂ける為に、広報誌や、HP等で積極的な広報活動を行っていく。															
担当課		上下水道局 経営企画課															

評価指標				傾向													
2 水洗化の普及率	定義	方向性	水洗化人口 ÷ 行政区域人口	↗	<p>水洗化の普及率</p> <table border="1"> <caption>水洗化の普及率</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>98.6</td> <td>98.6</td> <td>98.7</td> <td>98.8</td> <td>99.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		98.6	98.6	98.7	98.8	99.0
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値												
	98.6	98.6	98.7	98.8	99.0												
実績値の評価・分析		啓発活動や未水洗化家屋の建て替えなどにより、水洗化の普及率は微増の状態である。															
目標達成に向けた今後の課題		供用開始区域内に未水洗化家屋が残っているため、引き続き、水洗化促進の啓発を行っていく。															
担当課		上下水道局 給排水設備課															

評価指標				傾向													
3 淨水場から配水した水量に対する、水道料金に結び付いた水量の割合	定義	方向性	有収水量 ÷ 配水量	↗	<p>浄水場から配水した水量に対する、水道料金に結び付いた水量の割合</p> <table border="1"> <caption>浄水場から配水した水量に対する、水道料金に結び付いた水量の割合</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>94.1</td> <td>96.0</td> <td>95.3</td> <td>95.5</td> <td>96.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		94.1	96.0	95.3	95.5	96.0
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値												
	94.1	96.0	95.3	95.5	96.0												
実績値の評価・分析		類似団体の平成27年度平均で90.15%となっており川西市は高い有収率を維持しておりますが、目標とする96%には達成していない。目標値に対し更なる漏水、その他損失水量の削減に努める。															
目標達成に向けた今後の課題		漏水調査による早期発見、修理による漏水防止を推進することにより更なる改善を図る。漏水の原因でもある老朽化した鉛製給水管の早期改良を行っていく。															
担当課		上下水道局 水道技術課															

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし
政策	01 住む
施策	06 市街地の整備を進めます

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	104,355千円	124,965千円	115,261千円	132,984千円		477,565千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
再開発総務管理事業	2,089千円	8,771千円	63,056千円	73,916千円	都市政策部 都市政策室
土地区画整理事業	1,322千円	8,771千円	0千円	10,093千円	都市政策部 都市政策室
空港周辺地域整備事業	27,838千円	13,010千円	8,127千円	48,975千円	都市政策部 都市政策室

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし	H25	H26	H27	H28	H29	合 計
政策	01 住む						
施策	07 中央北地区のまちづくりを進めます	コスト合計	1,531,276千円	982,628千円	1,209,552千円	717,959千円	4,441,415千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
キセラ川西推進事業	648,013千円	26,313千円	43,633千円	717,959千円	みどり土木部 地区推進課

【施策評価指標】

評価指標				傾向													
1 地区内公共施設整備率	定義	方向性	供用開始道路延長 ÷ 整備予定道路延長	↗	<table border="1"> <caption>地区内公共施設整備率</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>16.9</td> <td>24.7</td> <td>46.9</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	0.0	0.0	16.9	24.7	46.9	80.0
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値												
0.0	0.0	16.9	24.7	46.9	80.0												
実績値の評価・分析		目標値の達成に向け、道路整備工事を実施したが、補償・移転交渉や地中構造物の確認等、不測の事態により工程等を変更せざるを得ない場合がある。															
目標達成に向けた今後の課題		工事は最終局面を迎えており、効果的かつ適切な施工管理に努める必要がある。															
担当課		みどり土木部 地区整備課															

評価指標				傾向													
2 地区内宅地率	定義	方向性	整備済宅地面積 ÷ 整備予定宅地面積	↗	<table border="1"> <caption>地区内宅地率</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>44.2</td> <td>53.6</td> <td>63.6</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	0.0	0.0	44.2	53.6	63.6	80.0
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値												
0.0	0.0	44.2	53.6	63.6	80.0												
実績値の評価・分析		目標値の達成に向け、整地工事を実施したが、補償・移転交渉や地中構造物の確認等、不測の事態により工程等を変更せざるを得ない場合がある。															
目標達成に向けた今後の課題		工事は最終局面を迎えており、効果的かつ適切な施工管理に努める必要がある。															
担当課		みどり土木部 地区整備課															

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし
政策	01 住む
施策	08 総合的な交通環境の向上を図ります

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	52,350千円	54,334千円	52,950千円	60,113千円		219,747千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
公共交通支援事業	33,800千円	26,313千円	0千円	60,113千円	都市政策部 都市政策室

【施策評価指標】

	評価指標				傾向														
	定義	方向性	市内運行バス台数に係る導入率 ↗																
1 ノンステップバス導入率	実績値の評価・分析	交通事業者に対してノンステップバス導入支援を行うことにより、ノンステップバス導入率が年々上昇している。		<table border="1"> <caption>ノンステップバス導入率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>44.5</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>58.1</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>58.8</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>65.0</td> </tr> </tbody> </table>		年度	率 (%)	基準値	44.5	H25	55.0	H26	58.1	H27	58.8	H28	62.7	目標値	65.0
年度	率 (%)																		
基準値	44.5																		
H25	55.0																		
H26	58.1																		
H27	58.8																		
H28	62.7																		
目標値	65.0																		
	目標達成に向けた今後の課題	ノンステップバスの車両購入に対して、国等と協調補助を継続的にしていくことで、目標値に到達することができる。																	
	担当課	都市政策部 都市政策室																	

	評価指標				傾向														
	定義	方向性	市民実感調査より ↗																
2 主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合	実績値の評価・分析	モビリティ・マネジメント等の公共交通利用促進に取り組み、数値は上下するものの、目標値に近い状況で推移している。		<table border="1"> <caption>主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>51.9</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>53.2</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>52.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>59.3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52.4</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>55.0</td> </tr> </tbody> </table>		年度	割合 (%)	基準値	51.9	H25	53.2	H26	52.0	H27	59.3	H28	52.4	目標値	55.0
年度	割合 (%)																		
基準値	51.9																		
H25	53.2																		
H26	52.0																		
H27	59.3																		
H28	52.4																		
目標値	55.0																		
	目標達成に向けた今後の課題	今後さらに割合が上がるよう、「公共交通基本計画」で定めた14の取組の方向性に沿って具体的な施策を推進していく。																	
	担当課	都市政策部 都市政策室																	

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし	H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む						
施策	09 公営住宅を適正・効率的に管理します	コスト合計	676,688千円	722,013千円	1,270,890千円	599,181千円	3,268,772千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
住宅供給促進事業	142,298千円	8,771千円	0千円	151,069千円	都市政策部 住宅政策室
市営住宅維持管理事業	67,687千円	39,323千円	302,785千円	409,795千円	都市政策部 住宅政策室
花屋敷団地建替事業	13,286千円	17,542千円	0千円	30,828千円	都市政策部 住宅政策室
公営住宅基本計画策定事業	7,489千円	0千円	0千円	7,489千円	都市政策部 住宅政策室

【施策評価指標】

評価指標				傾向				
1 公営住宅の管理戸数	定義	方向性	公営住宅(借上げ公営住宅含む)の管理戸数	→	公営住宅の管理戸数			
	実績値の評価・分析	・平成28年度中に新たな公営住宅の建設、解体等がなかったため、前年度と同数となった。						
	目標達成に向けた今後の課題	・平成25年度に策定した公営住宅基本計画の改訂を行い、その中で、高齢化等現在の社会情勢に見合った総管理戸数や、各団地の適正な整備・維持管理の方針を定める。						
	担当課	都市政策部 住宅政策室				1,000 戸 基準値 H25 H26 H27 H28 目標値		

The chart shows the number of public housing management households over four years. The values are: H25: 1,093, H26: 1,089, H27: 1,084, H28: 1,084. The target value is also 1,093.

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし
政策	01 住む
施策	10 ふるさと団地の再生を推進します

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	18,205千円	36,304千円	55,147千円	41,612千円		151,268千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
ふるさと団地再生事業	24,070千円	17,542千円	0千円	41,612千円	都市政策部 住宅政策室

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 ふるさと団地への流入人口	定義	方向性	大和団地、多田グリーンハイツ、清和台地区の流入人口 ➡	<p>ふるさと団地への流入人口</p> <table border="1"> <caption>ふるさと団地への流入人口</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口 (千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>基準値</td><td>1,201</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,201</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,354</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,295</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,302</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1,240</td></tr> </tbody> </table>	年	人口 (千人)	基準値	1,201	H25	1,201	H26	1,354	H27	1,295	H28	1,302	目標値	1,240
年	人口 (千人)																	
基準値	1,201																	
H25	1,201																	
H26	1,354																	
H27	1,295																	
H28	1,302																	
目標値	1,240																	
実績値の評価・分析		3団地の人口流入が減少傾向にあったが、親元近居制度や各種制度のPR効果等が、流入人口増加に寄与していると思われる。																
目標達成に向けた今後の課題		人口流入は、住みたいと思わせる地域のポテンシャルにあり、市民・事業者・市等が協働して進めいかなくてはならず、市においては、福祉・教育・住環境等の総合的な魅力を発信していく必要がある。																
担当課		都市政策部 住宅政策室																

評価指標				傾向														
2 ふるさと団地の生産人口比率	定義	方向性	大和団地、多田グリーンハイツ、清和台地区の生産年齢人口比率 ➡	<p>ふるさと団地の生産人口比率</p> <table border="1"> <caption>ふるさと団地の生産人口比率</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>基準値</td><td>54.2</td></tr> <tr><td>H25</td><td>54.2</td></tr> <tr><td>H26</td><td>51.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>50.7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>50.3</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>55.0</td></tr> </tbody> </table>	年	比率 (%)	基準値	54.2	H25	54.2	H26	51.6	H27	50.7	H28	50.3	目標値	55.0
年	比率 (%)																	
基準値	54.2																	
H25	54.2																	
H26	51.6																	
H27	50.7																	
H28	50.3																	
目標値	55.0																	
実績値の評価・分析		生産年齢人口は減少傾向にあるが、減少率は鈍化してきており、親元近居制度等の若年世帯をターゲットにした各種取り組みの成果があるものと思われる。																
目標達成に向けた今後の課題		若年世帯を呼び込むため、各種の施策視点に生産年齢人口比率の上昇の視点を入れるなど、市として子育て支援や教育環境の充実等、更なる総合的な取り組みが必要となる。																
担当課		都市政策部 住宅政策室																

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし
政策	02 にぎわう
施策	11 商工業を振興します

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	131,343千円	126,289千円	884,289千円	121,190千円		1,263,111千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
商工振興事業	18,909千円	0千円	0千円	18,909千円	市民生活部 産業振興課
中小企業支援事業	93,510千円	8,771千円	0千円	102,281千円	市民生活部 産業振興課

【施策評価指標】

評価指標					傾向	
1 主に市内で買い物をする市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	↗	主に市内で買い物をする市民の割合	
	実績値の評価・分析		近隣市への大型小売店舗の出店や事業者と顧客間のニーズの相違により、市民の約20%が市外で買い物をしているという現状が続いている。			
	目標達成に向けた今後の課題		市内消費の拡大のため、商業者への支援や商業振興を目的としたイベント等の開催を通して、地域商業の活力向上を図る。			
	担当課		市民生活部 産業振興課			

評価指標					傾向	
2 市内総生産額	定義	方向性	兵庫県市町民経済計算より (市町内GDP速報値)※数値は速報値(名目)。	↗	市内総生産額	
	実績値の評価・分析		景気の緩やかな回復により、市内総生産額は年々上昇している。			
	目標達成に向けた今後の課題		今後も、景気の動向を注視しながら、引き続き、新商品及び新技術の開発や事業のPRに対する支援を行う。			
	担当課		市民生活部 産業振興課			

評価指標					傾向	
3 小売業店舗数	定義	方向性	経済センサスより	↗	小売業店舗数	
	実績値の評価・分析		大型小売店の進出、経営者の高齢化、事業者と顧客間のニーズの相違等により、小売業店舗数が減少しているため、目標の達成は難しい。			
	目標達成に向けた今後の課題		川西市商工会等と連携しながら創業支援や経営指導に取り組むとともに、提案公募型地域経済活性化補助金や融資の活用を図ることで、事業者を支援する。			
	担当課		市民生活部 産業振興課			

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向													
4 工業事業所数	定義	方向性	工業統計調査(従業員4人以上)より	→													
	実績値の評価・分析		工業事業所数は微減している。														
	目標達成に向けた今後の課題		工場事業所数がこれ以上減少しないよう、今後も各種補助金制度等を用いて支援する。														
	担当課	市民生活部 産業振興課															
				<table border="1"> <caption>Industrial Business Premises Trend Data</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		年	実績値	H25	97	H26	98	H27	95	H28	100	目標値	100
年	実績値																
H25	97																
H26	98																
H27	95																
H28	100																
目標値	100																

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし	H25	H26	H27	H28	H29	合 計
政策	02 にぎわう						
施策	12 中心市街地の活性化を推進します	コスト合計	54,614千円	30,762千円	19,631千円	21,037千円	126,044千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
中心市街地活性化推進事業	12,266千円	8,771千円	0千円	21,037千円	市民生活部 産業振興課

【施策評価指標】

評価指標				傾向																																				
1 鉄道の1日の乗降客数	定義	方向性	市統計要覧(阪急電鉄・能勢電鉄川西能勢口駅、JR西日本川西池田駅の計) ➔	<table border="1"> <caption>鉄道の1日の乗降客数</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>134,000</td> <td>134,098</td> <td>134,000</td> <td>134,000</td> <td>132,844</td> <td>134,000</td> </tr> <tr> <td>133,500</td> <td>133,555</td> <td>133,000</td> <td>133,023</td> <td>132,844</td> <td>133,500</td> </tr> <tr> <td>133,000</td> <td>133,555</td> <td>133,000</td> <td>133,023</td> <td>132,844</td> <td>133,000</td> </tr> <tr> <td>132,500</td> <td>133,555</td> <td>133,000</td> <td>133,023</td> <td>132,844</td> <td>132,500</td> </tr> <tr> <td>132,000</td> <td>133,555</td> <td>133,000</td> <td>133,023</td> <td>132,844</td> <td>132,000</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	134,000	134,098	134,000	134,000	132,844	134,000	133,500	133,555	133,000	133,023	132,844	133,500	133,000	133,555	133,000	133,023	132,844	133,000	132,500	133,555	133,000	133,023	132,844	132,500	132,000	133,555	133,000	133,023	132,844	132,000
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値																																			
134,000	134,098	134,000	134,000	132,844	134,000																																			
133,500	133,555	133,000	133,023	132,844	133,500																																			
133,000	133,555	133,000	133,023	132,844	133,000																																			
132,500	133,555	133,000	133,023	132,844	132,500																																			
132,000	133,555	133,000	133,023	132,844	132,000																																			
実績値の評価・分析		能勢電鉄の乗降客数の減少に伴い、鉄道の1日の乗降客数は減少傾向である。																																						
目標達成に向けた今後の課題		川西能勢口駅周辺の商業施設などの魅力を高め、市内外から人を呼び込むための施策を実施する必要がある。																																						
担当課		市民生活部 産業振興課																																						

評価指標				傾向																														
2 休日の歩行者通行量	定義	方向性	川西能勢口駅周辺歩行者通行量調査より ➔	<table border="1"> <caption>休日の歩行者通行量</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>63,192</td> <td>63,850</td> <td>64,172</td> <td>63,192</td> <td>62,000</td> <td>63,192</td> </tr> <tr> <td>62,000</td> <td>63,850</td> <td>64,172</td> <td>63,192</td> <td>62,000</td> <td>62,000</td> </tr> <tr> <td>61,139</td> <td>63,850</td> <td>64,172</td> <td>63,192</td> <td>62,000</td> <td>61,139</td> </tr> <tr> <td>55,948</td> <td>63,850</td> <td>64,172</td> <td>63,192</td> <td>62,000</td> <td>55,948</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	63,192	63,850	64,172	63,192	62,000	63,192	62,000	63,850	64,172	63,192	62,000	62,000	61,139	63,850	64,172	63,192	62,000	61,139	55,948	63,850	64,172	63,192	62,000	55,948
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値																													
63,192	63,850	64,172	63,192	62,000	63,192																													
62,000	63,850	64,172	63,192	62,000	62,000																													
61,139	63,850	64,172	63,192	62,000	61,139																													
55,948	63,850	64,172	63,192	62,000	55,948																													
実績値の評価・分析		キセラ川西が完成していないため、川西能勢口駅周辺の歩行者数が減少傾向にある。																																
目標達成に向けた今後の課題		「きんたくんバル」などの既存ソフト事業の改善によるまちの活性化に加えて、中活計画の核事業であるキセラ川西の円滑な事業進捗が必要である。																																
担当課		市民生活部 産業振興課																																

施策別 行政サービス成果表

視点	01 蓁らし
政策	02 にぎわう
施策	13 農業を振興します

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	69,856千円	59,369千円	68,525千円	99,811千円		297,561千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
農業共済事業特別会計繰出金	5,119千円	0千円	0千円	5,119千円	市民生活部 産業振興課
農業振興事業	22,248千円	17,542千円	0千円	39,790千円	市民生活部 産業振興課
農業用施設改良事業	43,241千円	0千円	0千円	43,241千円	市民生活部 産業振興課
農業用施設等災害復旧事業	11,661千円	0千円	0千円	11,661千円	市民生活部 産業振興課

【施策評価指標】

評価指標				傾向												
1 直売所来場者数	定義	方向性	市内の直売所への来場者数 ➡	<table border="1"> <caption>直売所来場者数</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>48,800</td> <td>47,236</td> <td>43,123</td> <td>43,789</td> <td>50,000</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		48,800	47,236	43,123	43,789	50,000
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値											
	48,800	47,236	43,123	43,789	50,000											
実績値の評価・分析		市内で採れた安全・安心な新鮮野菜等へのニーズが高まる一方で、直売所の魅力の低下などにより、来場者数が減少した。														
目標達成に向けた今後の課題		イベントの来場者へ合わせてチラシを配布するなど、地産地消の観点から地元野菜等の農産物や直売所のPRに努めるとともに、大消費地に近い立地を生かして都市農業を振興していく必要がある。														
担当課		市民生活部 産業振興課														

評価指標				傾向												
2 特産物栽培面積	定義	方向性	いちじく、桃、くりの栽培面積 ➡	<table border="1"> <caption>特産物栽培面積</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1,571</td> <td>1,195</td> <td>1,200</td> <td>1,237</td> <td>1,500</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		1,571	1,195	1,200	1,237	1,500
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値											
	1,571	1,195	1,200	1,237	1,500											
実績値の評価・分析		昨年度に比べ、微増しているものの、都市化の進行や有害鳥獣による被害、ウメ輪紋病による改植制限などにより生産意欲の低下を招いている。														
目標達成に向けた今後の課題		新規消費者の確保や新たな需要拡大を促すため、各種即売会の実施をはじめ、川西産いちじく「朝採りの恵み」などの各種特産物やそれらを使用した加工品のPRに努める。また、国や県の協力のもと、ウメ輪紋病の緊急防除区域の早期解除に向けた対策に取り組む。														
担当課		市民生活部 産業振興課														

評価指標				傾向												
3 農作物作付面積	定義	方向性	水稻生産実施計画に基づく農作物を作付けしている面積 ➡	<table border="1"> <caption>農作物作付面積</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>13,323</td> <td>12,810</td> <td>12,494</td> <td>13,000</td> <td>13,000</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		13,323	12,810	12,494	13,000	13,000
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値											
	13,323	12,810	12,494	13,000	13,000											
実績値の評価・分析		高齢化に伴う担い手不足や、有害鳥獣等の被害による生産意欲の低下により、作付面積が減少している。														
目標達成に向けた今後の課題		引き続き耕作放棄地の解消と担い手の育成を行う。また、猪やアライグマ等の有害鳥獣の捕獲活動や、老朽化した農業用施設の工事資金の補助を行うなど、農業に従事しやすい環境づくりに取り組む。														
担当課		市民生活部 産業振興課														

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし	H25	H26	H27	H28	H29	合 計
政策	02 にぎわう						
施策	就労支援の充実と 14 勤労者福祉の向上 を図ります	コスト 合計	55,499千円	55,679千円	49,388千円	54,328千円	214,894千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
就労支援事業	6,564千円	0千円	11,256千円	17,820千円	市民生活部 産業振興課
労働者災害復興支援事業	130千円	0千円	0千円	130千円	市民生活部 産業振興課
労働者支援事業	18,836千円	17,542千円	0千円	36,378千円	市民生活部 産業振興課

【施策評価指標】

評価指標				傾向												
1 自分の仕事にやりがいを感じている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>自分の仕事にやりがいを感じている市民の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>83.1</td> <td>82.8</td> <td>73.3</td> <td>77.5</td> <td>85.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	83.1	82.8	73.3	77.5	85.0	
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値											
83.1	82.8	73.3	77.5	85.0												
実績値の評価・分析		中小企業勤労者福祉サービスセンターによる福利厚生の充実やキャリアカウンセリング等の相談事業により、仕事のやりがいの上昇につながった。														
目標達成に向けた今後の課題		今後も引き続き、中小企業勤労者福祉サービスセンターによる福利厚生の充実や市内勤労者に対する労働相談、在宅就業等新たな働きかたの提供を通して、勤労意欲の向上を図る。														
担当課		市民生活部 産業振興課														

評価指標				傾向												
2 川西しごと・サポートセンターの年間就職件数	定義	方向性	事業所へ紹介した人が採用された件数	<p>川西しごと・サポートセンターの年間就職件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,076</td> <td>1,002</td> <td>1,003</td> <td>1,003</td> <td>958</td> <td>1,400</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	1,076	1,002	1,003	1,003	958	1,400
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値											
1,076	1,002	1,003	1,003	958	1,400											
実績値の評価・分析		緩やかな景気の上昇、有効求人倍率の上昇等に伴い、しごと・サポートセンターでの就職件数は減少している。														
目標達成に向けた今後の課題		就職件数は減少しているが、職業紹介件数が年々減少していることから、就職率は上昇している。国との一体的事業として実施している川西しごと・サポートセンターでの就労支援を今後さらに充実させ、就職率が更に上昇するよう、ハローワーク伊丹との連携を強化する。														
担当課		市民生活部 産業振興課														

施策別 行政サービス成果表

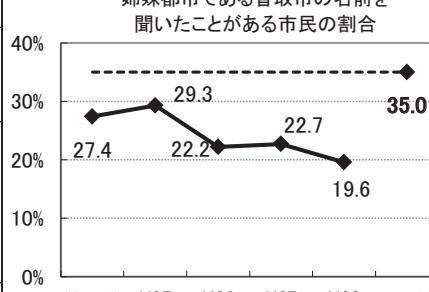
視点	01 蓼らし
政策	02 にぎわう
施策	観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます 15 開発・PRし、知名度を高めます

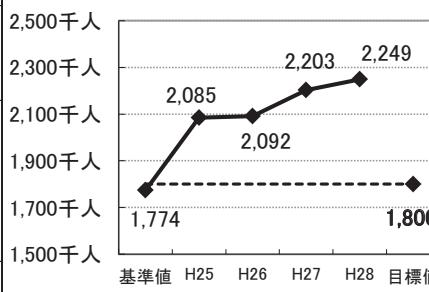
	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	88,681千円	74,664千円	95,895千円	96,029千円		355,269千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
国内交流事業	644千円	0千円	0千円	644千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
観光推進事業	6,798千円	0千円	0千円	6,798千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
イベント支援事業	8,267千円	8,771千円	0千円	17,038千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
猪名川花火大会事業	21,922千円	8,771千円	0千円	30,693千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
知明湖キャンプ場管理運営事業	7,169千円	0千円	0千円	7,169千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
知明湖活用推進事業	8,006千円	8,771千円	0千円	16,777千円	みどり土木部 公園緑地課
ダリヤ育成事業	8,139千円	8,771千円	0千円	16,910千円	みどり土木部 公園緑地課

【施策評価指標】

評価指標				傾向											
1 姉妹都市である香取市 の名前を聞いたことがある 市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	↗											
	実績値の評価・分析		広報誌の交換や、特産品の斡旋販売等で交流を図っているが、市民へ広く周知できていないため、認知度も減少傾向にある。												
	目標達成に向けた今後の課題		川西市国際交流協会において、交流事業を実施しているが、今後は双方の市の観光PRを積極的に行い、香取市と姉妹都市であることを広く周知できるよう努める。												
	担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課	 <table border="1"><caption>姉妹都市である香取市の名前を聞いたことがある市民の割合</caption><thead><tr><th>基準値</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>27.4</td><td>29.3</td><td>22.2</td><td>22.7</td><td>35.0</td></tr></tbody></table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		27.4	29.3	22.2	22.7
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値										
	27.4	29.3	22.2	22.7	35.0										

評価指標				傾向											
2 観光客入込数	定義	方向性	兵庫県観光客動向調査より(観光施設を抜粋)	↗											
	実績値の評価・分析		観光情報ページの開設や各種イベントへの積極的な参加による観光PRなどにより、目標値を達成することができた。												
	目標達成に向けた今後の課題		幅広い世代に本市を訪問してもらえるよう、観光PRに努めるとともに、より一層本市の魅力を向上させ、交流人口の増加を図るために、豊富な観光資源の有効活用を図る。												
	担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課	 <table border="1"><caption>観光客入込数</caption><thead><tr><th>基準値</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>1,774</td><td>2,085</td><td>2,092</td><td>2,203</td><td>1,800</td></tr></tbody></table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		1,774	2,085	2,092	2,203
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値										
	1,774	2,085	2,092	2,203	1,800										

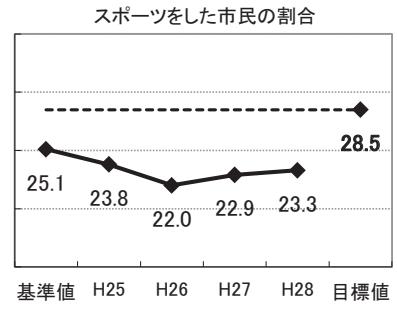
施策別 行政サービス成果表

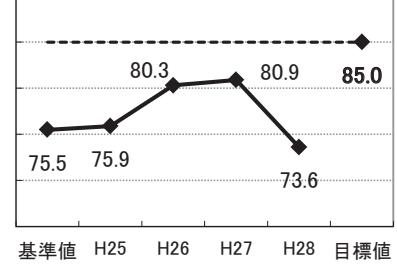
視点	01 暮らし	H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	02 にぎわう						
施策	文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます	コスト合計	633,521千円	775,398千円	680,439千円	769,509千円	2,858,867千円

【事業・コスト一覧】

事業名	28年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
文化振興事業	100,955千円	17,542千円	0千円	118,497千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
芸術文化施設維持管理事業	137,752千円	0千円	3,651千円	141,403千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
生涯スポーツ推進事業	11,121千円	17,542千円	0千円	28,663千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
競技スポーツ推進事業	4,614千円	8,771千円	0千円	13,385千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
スポーツ施設管理運営事業	318,574千円	0千円	13,125千円	331,699千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
アステ市民プラザ運営事業	51,231千円	30,552千円	54,079千円	135,862千円	市民生活部 アステ市民プラザ

【施策評価指標】

評価指標				傾向																			
1 過去1年間に継続してスポーツをした市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	↗	過去1年間に継続してスポーツをした市民の割合  <table border="1"> <caption>過去1年間に継続してスポーツをした市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>25.1</td> <td>23.8</td> <td>22.0</td> <td>22.9</td> <td>23.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>28.5</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		25.1	23.8	22.0	22.9	23.3						28.5
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値																		
	25.1	23.8	22.0	22.9	23.3																		
					28.5																		
実績値の評価・分析		ニュースポーツの備品貸出や、スポーツ大会の開催などスポーツの普及に取り組んだ。目標値からはまだ差が開いているが、平成26年以降微増してきている。																					
目標達成に向けた今後の課題		各種スポーツ団体の支援を行うとともに、社会体育施設等の適切な管理運営、ニュースポーツの普及など、市民がそれぞれの生活や体力等に合わせてスポーツに親しみ、連続できる環境づくりを進めていく。																					
担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課																					

評価指標				傾向																			
2 文化会館・みつかホールで実施される自主事業の集客率	定義	方向性	入場者数÷定員	↗	文化会館・みつかホールで実施される自主事業の集客率  <table border="1"> <caption>文化会館・みつかホールで実施される自主事業の集客率</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>75.5</td> <td>75.9</td> <td>80.3</td> <td>80.9</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>73.6</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値		75.5	75.9	80.3	80.9	85.0						73.6
基準値	H25	H26	H27	H28	目標値																		
	75.5	75.9	80.3	80.9	85.0																		
					73.6																		
実績値の評価・分析		「みつかベストクラシックス」のシリーズについて、前年度より集客率が下がったため、自主事業の集客率が7.3ポイント減少した。																					
目標達成に向けた今後の課題		比較的の低価格で提供する鑑賞機会等のニーズは高まっていると思われるが、当財団の自主事業には音楽が主体となっている事業が多いため、多様化する市民のニーズに対応し、音楽や舞台芸術だけでなく、幅広い事業を展開する必要がある。																					
担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課																					

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	都市計画管理事業			決算書頁	258
視点・政策	01 暮らし・01 住む				
施策	01 良好な都市環境を整備します				
所管部・室・課	都市政策部 都市計画課	作成者	課長 橋本 隆司		

2. 事業の目的

将来のまちづくりを進めるため、秩序ある都市計画区域の整備を図る

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
総事業費	33,149	34,119	△ 970	一般財源	32,121	33,053	△ 932
内訳	事業費	6,836	7,836	△ 1,000	国県支出金	530	530
	職員人件費	26,313	26,283	30	地方債		
	公債費			特定財源（都市計画税）			
参考	職員数（人）	3	3	特定財源（その他）	498	536	△ 38
	再任用職員数（人）						

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	都市計画管理事業	細事業事業費（千円）	6,836
(1) 参画と協働の主な手法（実績）	審議会・検討会	住民説明・情報発信	

(2) 28年度の取組と成果

① 都市計画管理事業の内容

都市計画法に基づき都市計画の決定や変更を適切な判断のもと実施するとともに、市民・事業者等に対しては、土地利用規制遵守のための情報提供や知識普及を行うなど、都市計画業務を適切に遂行した。

そのほか、都市計画審議会の運営、都市計画に関する諸事務・調査の円滑かつ効果的な処理などを行った。



用途地域の変更(キセラ川西)

阪神間都市計画(川西市)							
面積(ヘクタール)							
行政区域全域		5,344					
区分	市街化区域		市街化調整区域		備考		
	面積(ヘクタール)	%	面積(ヘクタール)	%			
川西市	2,302	43	3,042	57	平成28年3月29日 兵庫県告示 第375号		
用途地域							
区分		面積(ヘクタール)		備考			
第一種低層住居専用地域		約 1,189		平成28年6月15日 川西市告示 第82号			
第二種低層住居専用地域		約 11					
第一種中高層住居専用地域		約 224					
第二種中高層住居専用地域		約 243					
第一種住居地域		約 190					
第二種住居地域		約 183					
準住居地域		約 10					
近隣商業地域		約 90					
商業地域		約 17					
準工業地域		約 102					
工業地域		約 43					
合計		約 2,302					

川西市の都市計画決定の概要

② 平成28年度都市計画決定の状況

平成28年度は、川西能勢口駅周辺とキセラ川西との回遊性及びにぎわいを創出する用途地域の変更等を都市計画決定した。

- ・阪神間都市計画ごみ焼却場の変更
- ・阪神間都市計画用途地域の変更
- ・阪神間都市計画中央地区地区計画の変更
- ・阪神間都市計画生産緑地地区の変更
- ・阪神間都市計画高芝地区地区計画の決定

③ 都市計画審議会の開催

都市計画審議会は、都市計画法第77条の2第1項の規定に基づき、本市が定める都市計画に関することや、本市が提出する都市計画に関する事項について調査審議させるため設置している。

平成28年度は、都市計画審議会を4回開催し、川西市が定める都市計画の決定について審議をし、市長へ答申が行われた。



④ 新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画の実現化

平成26年度末に策定した「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画」の実現化に向けて、「川西市市街化調整区域における地区計画の運用基準」を定めた。

新名神高速道路の工事
(石道付近)

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価

自己評価		28年度の事業の達成状況
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		平成28年度は、これまで手続してきた案件を都市計画決定した。さらに、今後に都市計画決定していく案件の調査や準備等の作業を進めた。このことで、速やかな都市計画決定手続きを進めることができた。さらに、「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画」の実現化に向けて、川西市市街化調整区域における地区計画の運用基準を定めた。
課題と改善について		29年度以降における具体的な方向性について
都市計画法に基づき都市計画の決定や変更を適切な判断のもと実施するとともに、市民・事業者等に対しては、土地利用規制遵守のための情報提供や知識普及を行うなど、都市計画業務を適切に遂行していく必要がある。		都市計画審議会の運営、都市計画に関する諸事務・調査の円滑かつ効果的な処理などを行う。「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画」の実現化に向けて、土地利用の適正な増進にも配慮しつつ、「地域主導のまちづくり」を的確に支援するため、「川西市市街化調整区域における地区計画の運用基準」に照らし、地区計画の規制基準の緩和を実施する。

※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	都市景観形成事業			決算書頁	258
視点・政策	01 暮らし・01 住む				
施策	01 良好な都市環境を整備します				
所管部・室・課	都市政策部 都市計画課	作成者	課長 橋本 隆司		

2. 事業の目的

市民の目線に立った景観施策を展開するとともに、美しい街並みを保全・育成するため建築物の景観誘導等を行う

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較	
内訳	総事業費	8,853	9,068	△ 215	一般財源	8,853	9,068	△ 215
	事業費	82	307	△ 225	国県支出金			
参考	職員人件費	8,771	8,761	10	地方債			
	公債費				特定財源（都市計画税）			
	職員数（人）	1	1		特定財源（その他）			
	再任用職員数（人）							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	都市景観形成事業	細事業事業費（千円）	82
(1) 参画と協働の主な手法（実績）	講座・フォーラム	住民説明・情報発信	審議会・検討会
(2) 28年度の取組と成果			

① 都市景観形成事業の内容

- 魅力ある都市景観の形成、景観阻害の防止。市民が愛着を持って暮らせるまちづくりをめざして、大規模建築物等を建築する者に対して、景観計画及び景観条例に基づく指導や助言を行った。
- 市民の目線に立った景観施策を展開するため、「ホットとする」「身近な」「お気に入り」と思う場所や建物の写真や資料などを展示するとともに、ホームページにも掲載するなど、広く市民に景観に関する情報を発信した。



第6回ふるさと川西景観展（川西市役所1階市民ギャラリー）

かわにし生活景2017カレンダーの作成

② はがき絵募集と景観展の開催

平成28年度「ふるさと川西景観展」では、『歩きたくなる「道」立ち止まりたくなる「景観』をテーマに、現在も市内に残る「多田街道」などの道程やその周辺の景観写真を展示した。

あわせて、市民の皆さんから募集した、「お気に入りの道」が描かれたはがき絵を展示した。



第6回ふるさと川西景観展の開催

③ 景観計画の普及・啓発

平成28年度景観フォーラムでは、「まちあるき」での、様々な景観の特徴の発見を通じ、景観づくりの方法やプロセスについてや、景観アドバイザー派遣制度の活用について、講演やワークショップを通して参加者全員で理解し、共有した。



ふるさと川西景観フォーラムの開催

④ 景観アドバイザー派遣要綱の策定

市民主体の取組による良好な景観の形成に向けた活動に対して技術的援助を行うことで、身近にある暮らしの景観の保全や、川西の魅力を高める景観の形成や活用に繋げていくことを目的に、平成28年9月に策定した。

⑤ 景観条例の届出

「川西市景観計画」を実現するために、景観条例に基づく届出の審査を進めた。

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価

市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。	<input type="checkbox"/>
市民の利便性や事業の効率性が向上した。	<input type="checkbox"/>
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	<input checked="" type="checkbox"/>

28年度の事業の達成状況

誰もが心地良いと感じる景観の形成に向けて、景観条例に基づく届出による景観誘導を行った。
また、景観資源の保全・創出に向けて景観表彰制度や、協働による魅力的な景観形成の実現に向けて景観アドバイザーパ派遣要綱を創設した。

課題と改善について

景観計画の実現化に向けて、市民と事業者と行政による一体的な取組が必要である。
今後、技術的・資金的な支援について検討していく必要がある。

29年度以降における具体的な方向性について

川西らしい魅力的な景観の形成を進めていくための景観計画実現に向けて、景観フォーラムの開催やふるさと川西景観展を継続して開催し、普及・啓発を図る。
また、良好な景観の形成に向けた取組を募集し、景観表彰を行う。
さらに、技術的な支援として、建築物・樹木等の維持・管理に関する専門家をアドバイザーとして派遣し、市内の景観資源の発掘を図る。

※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	開発行為審査事業			決算書頁	258
視点・政策	01 暮らし・01 住む				
施策	01 良好な都市環境を整備します				
所管部・室・課	都市政策部 開発指導課	作成者	課長 堀内 孝洋		

2. 事業の目的

開発許可制度により無秩序な市街化を抑制し、良好な水準の市街地の形成を図る

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較	
内訳	総事業費	27,058	32,609	△ 5,551	一般財源	23,239	26,527	△ 3,288
	事業費	745	6,326	△ 5,581	国県支出金	1,501	3,909	△ 2,408
	職員人件費	26,313	26,283	30	地方債			
	公債費				特定財源（都市計画税）			
参考	職員数（人）	3	3		特定財源（その他）	2,318	2,173	145
	再任用職員数（人）							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	開発行為審査事業	細事業事業費（千円）	745
(1) 参画と協働の主な手法（実績）			
(2) 28年度の取組と成果			
①都市計画法による開発行為の許可（開発許可、変更許可、建築許可等） <ul style="list-style-type: none"> 市街化区域内で行われる500m以上の土地における造成行為に対して、都市計画法に基づき開発行為の許可が必要なものについては、法律に定められた基準への適合等について審査し、許可を行うとともに検査を実施し、申請内容との整合性を確認のうえ工事完了公告を行った。 なお、市街化調整区域は市街化を抑制すべき区域であり、原則建築物の建築ができない。市街化調整区域における開発行為については、法律に規定する例外要件に該当するかを審査し、適合するものは許可した。 			
②宅地造成等規制法による宅地造成に関する工事の許可（宅造許可、変更許可） <ul style="list-style-type: none"> 宅地造成工事規制区域で行う行為のうち、宅地造成等規制法に基づく許可が必要なものについては審査のうえ、許可及び検査を行うことで宅地の安全性を確保した。 			
③その他 <ul style="list-style-type: none"> 上記のほか違反に対する是正指導や開発許可等の事務の迅速化及び適正化に努めるとともに、兵庫県との協議会や基準改正検討会等に参加し、法律の審査基準の問題点の整理を行った。 また、「宅地防災月間」を実施し、危険宅地防災パトロール等で危険個所の把握に努め、その状況に応じ災害を防止するよう注意を促すとともに、宅地防災相談所を開設するなどして、広く市民に対しても宅地防災に対する意識を普及させた。 			

開発許可及び宅造許可等(実績件数)

(件)

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
開発許可	26	24	14	15	18
開発許可(変更)	20	24	15	13	18
宅造許可	6	14	17	10	6
宅造許可(変更)	0	1	7	4	4



危険宅地防災パトロール



危険宅地防災パトロール

5. 担当部長による自己評価及び今後の方針性等

自己評価

市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。	<input type="checkbox"/>
市民の利便性や事業の効率性が向上した。	<input type="checkbox"/>
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	<input checked="" type="checkbox"/>

28年度の事業の達成状況

開発行為に関して一定の水準を確保するとともに、開発行為等指導要綱に基づき、地域の実情に合った環境の創造に向けて事業者に協力を求めて事業を実施した。

課題と改善について

開発行為に関する要望等について、市民ニーズの多様化や環境に対する意識の変化を踏まえて対応するとともに、市民への事業周知の在り方を検討し、円滑な事業実施に向けた指導が求められる。

29年度以降における具体的な方向性について

都市計画法等関係法令に基づき、地域の状況や社会経済情勢の変化を踏まえた柔軟な対応を図るとともに、これまで行ってきた指導体制を適宜見直し、事務の適正化・迅速化を進める。

また、市街化調整区域での適正な土地利用を誘導するため、啓発方法について検討を行う。

*「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	地籍調査事業			決算書頁	260
視点・政策	01 暮らし・01 住む				
施策	01 良好な都市環境を整備します				
所管部・室・課	都市政策部 都市計画課	作成者	課長 橋本 隆司		

2. 事業の目的

一筆ごとの土地境界を確認し、土地の位置の復旧に役立つ地図を作成する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
					一般財源	国県支出金	地方債
総事業費	29,313	22,900	6,413		20,955	19,300	1,655
内訳	事業費	11,771	5,378	6,393	8,358	3,600	4,758
	職員人件費	17,542	17,522	20			
	公債費						
参考	職員数（人）	2	2				
	再任用職員数（人）						

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	地籍調査事業	細事業事業費（千円）	11,771
(1) 参画と協働の主な手法（実績）			

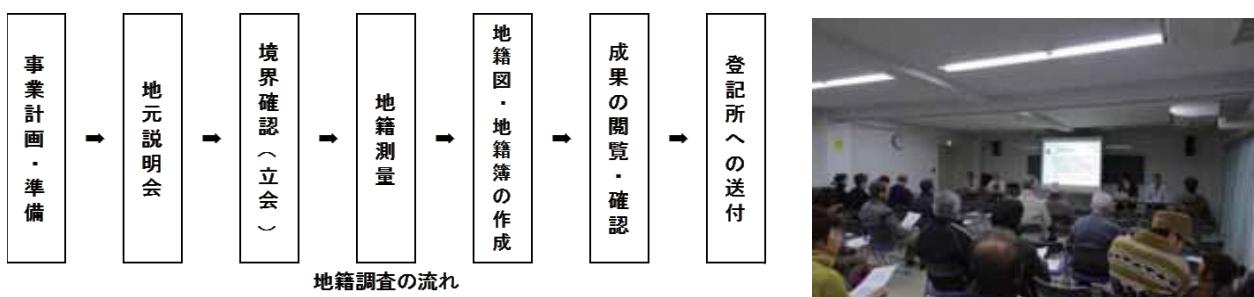
(2) 28年度の取組と成果

① 地籍調査事業の内容

地籍調査事業は、地籍の明確化を図るために、一筆ごとの土地について、地番、地目、所有者、境界を調査して境界の位置と面積を測量し、地図(地籍図)と簿冊(地籍簿)を作成する事業である。

調査は地区内の全ての土地を対象に行われ、土地所有者の現地立ち会いにより筆界を確認する。そして、調査結果により、成果(地籍図、地籍簿)が作成され、県や国の検査、事務手続きを経て、各土地の筆界点には現地復元が可能となる座標値が付与され、土地に関する基礎データとして利活用される。

本市における地籍調査対象面積は50.84km²(市域面積より河川・湖沼を差し引いた面積)で、人口集中地区(DID地区)から優先的に調査を行った。



② 地籍調査が果たす役割

- ・土地にかかるトラブルの未然防止に役立つ
- ・災害の復旧に役立つ
- ・公共事業の円滑化に役立つ
- ・土地取引の円滑化に役立つ



地元説明会(大和西3丁目)

③ 地籍調査事業の成果

平成18年度より、地籍調査に着手し、これまでに、中央町、小花1丁目・2丁目、錦松台、大和西1丁目・2丁目で調査をしてきた。

平成28年度は、錦松台地域と大和西1丁目の地籍簿及び地籍図の作成、閲覧(H工程)を実施した。



地籍図・地籍簿の作成成果の閲覧

工程	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
基準点設置					錦松台		大和西 1・2丁目		大和西 3・5丁目
地権者調査	小花1・2丁目		錦松台			大和西 1・2丁目			大和西 3丁目
現地立会	中央町	小花1・2丁目		錦松台		大和西 1・2丁目			
現地測量		中央町	小花1・2丁目		錦松台		大和西 1・2丁目		
地籍測量			中央町	小花1・2丁目		錦松台	大和西 1・2丁目		
地籍図・地籍簿の作成 成果の閲覧				中央町	小花1・2丁目			大和西2丁目	錦松台 大和西1丁目

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

自己評価

28年度の事業の達成状況

平成28年度錦松台地域と大和西1丁目地域での、地籍図及び地籍簿案の閲覧を実施した。

さらに、大和西3丁目、5丁目において地籍調査を着手した。

市民の利便性や事業の効率性が 大きく向上した。	
市民の利便性や事業の効率性が 向上した。	
市民の利便性や事業の効率性は 前年度の水準に留まった。	○

課題と改善について

年次的、計画的に事業を進めているが、現地立会がされない事例が多く、土地の境界が不明確なままの土地が発生し、課題となっている。

今後、これまでの調査実績や近隣市の実施状況などを勘案し、調査方法の見直しを検討する。

29年度以降における具体的な方向性について

これまでに実施している一筆地調査を、道路に接する間口部分のみを調査する官民境界等先行調査に移行し、災害時の復旧に役立つ地籍調査を進めていく。

※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	まちづくり支援事業			決算書頁	260
視点・政策	01 暮らし・01 住む				
施策	01 良好な都市環境を整備します				
所管部・室・課	都市政策部 都市計画課	作成者	課長 橋本 隆司		

2. 事業の目的

住民主体のまちづくりに向けた支援を行い、市民とともに計画的なまちづくりを推進する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較
					一般財源	国県支出金	地方債
総事業費	21,872	21,571	301		21,872	21,446	426
内訳	事業費	4,330	4,049	281		125	△ 125
	職員人件費	17,542	17,522	20			
	公債費						
参考	職員数（人）	2	2				
	再任用職員数（人）						

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	まちづくり支援事業	細事業事業費（千円）	4,330
(1) 参画と協働の主な手法（実績）	団体等への補助		

(2) 28年度の取組と成果

① まちづくり支援事業の内容

住民主体による住み良いまちづくりを推進するため、川西市地区計画及びまちづくり推進に関する条例やまちづくり支援事業に基づき、アドバイザー派遣、コンサルタント派遣及び活動助成などを実施した。

地区計画地元案の策定を目指すまちづくり協議会に対して、住民主体のまちづくり活動を活発化させるため、職員による人的支援（進め方の助言や他の活動事例紹介など）を実施するなど、本事業の推進に努めた。

また、地区計画の区域内で建築を行う者に対し、地区計画の届け出を課し、地区計画の規制を遵守するよう指導した。



地区名	(件)
阪急日生ニュータウン(川西市)	8
鳶が丘地区	1
多田グリーンハイツ水明台地区	24
多田グリーンハイツ向陽台地区	15
多田グリーンハイツ緑台地区	34
大和東1丁目地区	8
大和西1丁目地区	0
大和東2・5丁目地区	2
清和台地区・ファミールタウン清和台地区	24
けやき坂地区	22
東畦野山手地区	2
湯山台地区	13
中央地区	6
満願寺町地区	2
多田院北地区	1
南野坂地区	1
	163

高芝地区地区計画の都市計画決定

平成28年度地区計画届出件数

② 地区計画の決定状況

項目	H9～20年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	計
地区計画の決定数	23 地区	1 地区	0 地区	0 地区	0 地区	1 地区	25 地区
地区計画の変更数	9 地区	1 地区	1 地区	1 地区	2 地区	1 地区	15 地区
地区計画区域内での届出件数	-	212 件	184 件	168 件	165 件	163 件	-

③ まちづくり支援事業の実績

東久代2丁目の高芝地区でのまちづくり協議会に、地区計画によるまちづくりを円滑に進めるために、勉強会等の活動に対し、専門家を通じて地域住民主体のまちづくり活動の支援を行った。



④ 地区計画決定地区等での相談状況

(単位:回)

高芝地区まちづくり協議会 勉強会

地域	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
清和台	0	0	1	0	1
日生	0	13	3	5	1
大和団地	3	0	1	2	5
グリーンハイツ	2	1	0	6	1
けやき坂	0	1	3	0	2
東畦野山手	0	0	0	1	0
湯山台	2	0	2	1	3
鳶台	8	3	3	2	1
高芝	0	0	5	4	9
その他	4	0	2	0	7
合計	19	18	20	21	30

5. 担当部長による自己評価及び今後の方針性等

自己評価

市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。	<input type="checkbox"/>
市民の利便性や事業の効率性が向上した。	<input checked="" type="checkbox"/>
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	<input type="checkbox"/>

28年度の事業の達成状況

H27年度の高芝地区まちづくり協議会準備会へのアドバイザー派遣に引き続き、H28年度は協議会へ地区計画策定のためのまちづくり活動を支援することで、「高芝地区地区計画」を都市計画決定することができた。

本事業の成果として地区計画等の都市計画決定による地区計画区域内の規制を遵守することで住民主体のまちづくりにつながった。

課題と改善について

市民とともに、計画的なまちづくり推進のために、当事業による支援を継続していく必要がある。

さらに、ニュータウン等では、高齢化がすすみ、空家や人口流失の増加が予想される中、街区の環境を保全するとともに、まちの活性化に向けて、地区計画の変更も視野に入れる必要がある。

29年度以降における具体的な方向性について

本事業の成果として、地区計画等の都市計画の規制を遵守することで住民主体のまちづくりへつなげている。

今後も、街区の環境を保全するとともに、まちの活性化に向けて、地区計画の変更も視野に入れた取り組みをする必要がある。

※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	建築指導事業			決算書頁	278
視点・政策	01 暮らし・01 住む				
施策	01 良好な都市環境を整備します				
所管部・室・課	都市政策部 建築指導課	作成者		課長	萩倉 直

2. 事業の目的

住宅・建築物の質を高め、安全安心なまちづくりに寄与する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	28年度	27年度	比較	財源	28年度	27年度	比較	
					一般財源	国県支出金	地方債	
総事業費	100,405	91,528	8,877		89,658	83,501	6,157	
内訳	事業費	17,227	12,679	4,548	国県支出金	6,477	2,616	3,861
	職員人件費	83,178	78,849	4,329	地方債			
	公債費				特定財源（都市計画税）			
参考	職員数（人）	9	9		特定財源（その他）	4,270	5,411	△ 1,141
	再任用職員数（人）	1						

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	建築指導事業	細事業事業費（千円）	17,227
(1) 参画と協働の主な手法（実績）	講座・フォーラム	団体等との共催・連携	
(2) 28年度の取組と成果			

主に、次の業務を実施した。

- ① 建築確認申請の審査・検査
- ② 建築基準法に基づく許可・認定
- ③ 違反建築物等の指導・措置
- ④ 特殊建築物等の定期報告の実施
- ⑤ 建築計画概要書の閲覧・交付
- ⑥ 長期優良住宅建築等計画の認定
- ⑦ 低炭素建築物新築等計画の認定
- ⑧ 住宅耐震改修促進事業等の実施



第8回 耐震市民フォーラム（アステホール）



第1回 住まいの耐震化展（市民ギャラリー）

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 建築確認申請・検査					
市	建築確認 完了検査	17 13	12 13	20 20	16 16
民間	建築確認 完了検査	700 643	713 680	639 683	595 510
② 基準法に基づく許可・認定					
許可・認定申請	30	28	28	27	17
③ 違反建築物等の指導					
違反指導	6	2	6	10	18
④ 特殊建築物等の定期報告					
建築	80	65	46	84	65
設備	45	46	46	47	43
昇降機	456	485	545	553	573
⑤ 建築計画概要書					
閲覧	351	177	141	148	113
交付	726	1,768	1,824	2,552	2,491
台帳証明	24	66	71	71	94
⑥ 長期優良住宅の認定申請					
認定申請	166	158	149	166	135
⑦ 低炭素建築物の認定申請					
認定申請	—	6	8	3	3
⑧ 住宅耐震改修促進事業					
簡易耐震診断	戸 数 棟 数	30 29	22 22	28 26	35 23
耐震改修		29	29	17	14
耐震建替 工事費補助		—	—	—	5
屋根軽量・シェルター		—	—	—	1

5. 担当部長による自己評価及び今後の方針性等

自己評価	28年度の事業の達成状況
<p>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</p> <p>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</p> <p>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</p>	<p>28年度の事業の達成状況</p> <p>建築物の安全性・快適性の確保に向け、建築主や所有者等に対して、建築基準法や関係法令に基づき、諸手続きの審査・検査・指導を行った。</p> <p>特に28年度は、耐震基準を満たさない住宅の「建替補助の創設」や「簡易耐震診断の手数料無料化」など、住宅耐震改修促進事業の拡充を図り、耐震化の推進・啓発に努めた。</p>
課題と改善について	29年度以降における具体的な方向性について
<p>近年、建築物を取り巻く環境は大きく変化し、耐震化、バリアフリー化、省エネルギー化、低炭素化など、業務が多様化・専門化している。</p> <p>また、建築行政職員は、時代の変化に対応し、効率よく業務が実施できるように、継続的な技術力確保や事務の効率化が求められている。</p>	<p>今後も、建築物の安全性・快適性の確保を目指し、建築基準法及び関係法令を遵守し、住宅耐震改修促進事業を推進する。</p> <p>また、建築行政職員は、限られた人員で効率よく業務を行い、その実力を強化するため、職場研修や事務改善に取り組む。</p>

※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。